●四国新聞(378×513)香川 2013年9月10日



年間日照時間では全国でもトップクラスの香川県。 各地で太陽光発電システムを積極推進中。三菱電機がお手伝いしています。



「うどん県電力」や自社工場で、三菱電機の太陽光発電システムが使われています。

再生可能エネルギーの活用は、今や地球規模の課題です。瀬戸内海に面し、温暖で 雨の少ない香川県では、この豊富な太陽光という資源を積極的に活動すべく、各地で 太陽光発電システムが導入されています。昨年、地元企業と有志によって設立された発 電事業会社「うどん県電力」では、第1号の発電所を高松市国分寺町に設置し、一般家 庭200世帯分にあたる、年間80万kWhを供給。この太陽光発電システムに、三菱電機 の技術が使われています。三菱電機では、丸亀市にある受配電システム製作所でも太陽 光発電システムを積極的に導入。また、エネルギー消費の「見える化」を徹底することで 着実に省エネ効果を上げています。こうした自社の取り組みをモデルケースとして、 三菱電機はこれからも省エネのさまざまな試みに積極的に技術を提供してまいります。



うどん県電力:パワーコンディショナー 屋外収納パッケージ盤



工場使用電力がリアルタイムに見える



▲三菱電機株式会社 四国支社